

第3回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会

「産婦人科における遺伝診療の在り方を考える」

会期：平成 29（2017）年 12 月 15 日（金）～16 日（土）

会場：兵庫県立 淡路夢舞台国際会議場
〒656-2306 兵庫県淡路市夢舞台 1 番地
TEL：0799-74-1020

会長：苛原 稔（徳島大学大学院医歯薬学研究部産科婦人科学分野 教授）

- ・理事会 日時：12 月 14 日（木）18：00～19：00
会場：ANA クラウンプラザホテル神戸 9 階「メリッサ」
- ・社員総会 日時：12 月 16 日（土）8：00～8：40
会場：淡路夢舞台国際会議場 2 階 第 1 会場「メインホール」
- ・情報交換会 日時：12 月 15 日（金）19：00～21：00
会場：ウェスティンホテル淡路 1 階「ステラ」

運営事務局：一般社団法人日本産科婦人科遺伝診療学会 事務局
（株式会社 MA コンベンションコンサルティング内）
〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-7 麹町パークサイドビル 402
TEL：03-5275-1191 FAX：03-5275-1192
e-mail：jskog3@macc.jp

会長挨拶

この度、平成 29 年 12 月 15 日（金）～16 日（土）の 2 日間にわたり、兵庫県淡路市の淡路夢舞台国際会議場で、第 3 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会を開催させていただくことになりました。

次世代を育む医療を担当する産婦人科において、遺伝診療は欠くべからざる重要な分野になりつつあります。産婦人科診療の 4 本柱は、周産期、生殖、腫瘍、そして女性ヘルスケアですが、いずれの領域においても遺伝診療の重要性が増しています。例えば、周産期においては母体血を用いた胎児細胞の染色体検査（NIPT）の導入、生殖では生殖補助医療の応用としての着床前遺伝子診断、腫瘍や女性医学領域では、遺伝性乳癌卵巣癌症候群への対応や抗がん剤におけるプレシジョン・メディシンなどが注目されています。また、遺伝診療の技術の進歩とともに、実際の医療に当たっては十分なカウンセリングの機会を保障する体制の整備が望まれています。

このような産婦人科の環境変化に立って本会が設立され、すでに過去 2 回の学術講演会を経て産婦人科全体に認知されてきましたが、これからの産婦人科における遺伝診療の発展は益々加速されると思われ、本会の意義は益々高まっております。そこで、本会のテーマを「産婦人科における遺伝診療の在り方を考える」とさせていただき、これからの産婦人科遺伝診療の発展のマイルストーンにしたいと思っています。

第 3 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会

会長 苛原 稔

（徳島大学大学院医歯薬学研究部産科婦人科学分野 教授）

参加者の方へ

参加者の方へ

1. 参加受付

12月15日（金）8：00～18：30

12月16日（土）7：30～16：00

2. 参加費

・学術講演会参加費

医師（会員）：15,000 円，医師（非会員）：20,000 円，非医師：5,000 円

・ロールプレイ参加費

（事前登録制．ご登録いただいていない方で当日ご参加希望の方は空き状況について受付におたずねください）

医師（会員）：5,000 円，医師（非会員）：8,000 円，非医師：3,000 円

※参加費のお支払いは現金のみの取り扱いとなります．クレジットカードはご利用いただけません．予めご了承ください．

※会場付近に ATM はございませんので，ご注意ください．

3. 参加章の再発行はいたしませんので，ご了承ください．

4. 学部学生，初期研修医の参加費は無料です．総合受付にお申し出ください．研修身分証明書，学生証を提示ください．

5. 学会誌/プログラム・抄録集は，会員の皆様には事前に送付いたします．別途ご購入される場合は，1冊：2,000 円です．

6. プログラム・抄録集のご所属表記については，一部修正，省略させていただいておりますので，あらかじめご了承ください．

7. 入会申込について

総合受付内事務局デスクにてご入会も承ります．年会費 10,000 円．お支払は現金のみの取扱となります．

8. 研修証明について



①日本産科婦人科学会専門医出席証明は，研修シール（10 単位）の発行に代わり，「e 医学会カード」により専門医出席証明を行いますので，会員の皆様は「e 医学会カード」をご持参ください．

②日本産婦人科医会の研修参加証明書は，従来通りシールを発行いたしますので，受付にて記名後お受け取りください．※後日の再発行はできません．

③認定遺伝カウンセラー制度 8 単位が付与されます．

④臨床遺伝専門医更新単位（5 単位）が付与されます．

※ロールプレイ研修会参加者は，暫定制度で取得した臨床遺伝専門医の更新時に必要なロールプレイ 1 回分が取得可能です．

⑤日本専門医機構認定講習会については，次頁の一覧をご確認ください．

⑥学術講演会とロールプレイ研修会の両方を参加することで，日本産科婦人科学会「生殖医療に関する遺伝カウンセリング受入れ可能な臨床遺伝専門医」講習会として認定され，資格申請ができます．

9. 日本専門医機構の認定講習一覧

日本専門医機構が認めるプログラムは，次頁の通りです．

各講演・講習会は、予約制ではありませんので、当日、直接会場へお越しください。参加受付はすべてe医学
会カードにて、講習開始の10分前から行います。10分以上遅れて会場入口に到着された場合や講演途中で退
室された場合は、機構専門医単位付与はされませんので予めご了承ください。

なお、産婦人科以外の診療科で、e医学会カードをお持ちでない方は受講証をお渡ししますので、各会場の受
付にお申し出ください。

専門医共通講習 (医療倫理講習会) 入室時受付 (8:40頃から)	教育講演1 「遺伝診療に必要な研究倫理」 苛原 稔 12月16日(土)8:50~9:50 第1会場(2階 メインホール)
産婦人科領域講習 入室時受付 (12:35頃から)	教育講演2『NIPTの現状と問題点』 「偽陽性・偽陰性例の病態について」 関沢 明彦 「NIPTの実施状況を俯瞰し、今、改めてその社会的問題点を再考する」 久具 宏司 12月16日(土)12:45~13:45 第1会場(2階 メインホール)

演者の方へ

1. 発表方法に関しまして

- (1) 発表形式はPC発表です。(PowerPointのスライドサイズは、4:3になります.)
スライドやビデオは使用できませんので、ご注意ください。
- (2) 会場へは、1. USBメモリ、2. CD-R、3. パソコン本体、以上1~3のうち、いずれかの形で発表データ
をお持ち込みください。
- (3) 講演開始30分前までにPC受付(2Fホワイエ)にて発表データの試写と受付を済ませてください。
PC持ち込みの方も、30分前までにPC受付へお越しください。
〈PC受付時間〉
12月15日(金)8:00~18:30
12月16日(土)7:30~16:00
- (4) 「発表者ツール」機能は使用できません。
- (5) PC受付のパソコンは台数が限られております。
受付パソコンを独占しての長時間のデータ修正はご遠慮願います。
学会場ではレイアウト修正のみとし、データ修正等は事前に済ませてから学会場へお越しください。

2. USBメモリ、またはCD-R(RW不可)をお持ち込みの方への注意事項

- (1) ソフトは、以下のものをご使用ください。
Windows版PowerPoint 2007/2010/2013/2016(Win7)
※Macintoshをご使用の方は、PCをお持ち込みください。
※iPad等タブレットPCは使用できません。
※動画ファイルをご使用の方は、PCをお持ち込みください。
- (2) フォントはOS標準のもののみご使用ください。
- (3) 会場スピーカーに音声は流せません。
- (4) 画面の解像度は、XGA(1024×768)でお願いいたします。
- (5) CD-R(RW不可)への書き込みは、ISO 9660方式をお使いください。
※パケット方式ですと、会場PCで読み込めない恐れがあります。

3. ノートPCをお持ち込みの方への注意事項

- (1) バックアップとして、必ずメディアもご持参ください。
- (2) 会場スピーカーに音声は流せません。
- (3) 画面の解像度は、XGA(1024×768)でお願いいたします。

(4) PC 受付の液晶モニターに接続し、映像の出力チェックを行ってください。

※PC の機種や OS によって、出力設定方法が異なります。

(5) プロジェクターとの接続ケーブル端子は、D-sub15 ピンです。

PC によっては専用のコネクタが必要になりますので、必ずお持ちください。

※特に VAIO、MacBook 等小型 PC は、別途付属コネクタが必要な場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

(6) スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除ください。

4. 発表時間および質疑応答時間

発表時間質疑応答時間

一般演題	発表 5 分、質疑 2 分（合計 7 分）
------	-----------------------

5. 演題発表時の利益相反状態開示方法について

学術集会における演題発表時の利益相反状態開示方法は以下の通りとします。

(1) 開示しなくてはならない筆頭演者

臨床研究に関するすべての発表において、利益相反状態の有無にかかわらず開示しなくてはなりません。

(2) 口演発表における開示方法

演題名・演者名・所属のスライドの次のスライド（第 2 スライド）に、以下に示すひな形に準じたスライドを呈示した上で、利益相反状態の有無を述べてください。

演題名・演者名・所属のスライドがない場合は、このスライドが第 1 スライドとしてください。

日本産科婦人科遺伝診療学会 利益相反状態の開示 筆頭演者氏名：〇〇 〇〇 所 属：△△△△ 産婦人科 私の今回の演題に関連して、開示すべき利益相反状態は以下のとおりです。 <table><tr><td>役員・顧問職/寄付講座所属</td><td>〇〇製薬株式会社</td></tr><tr><td>講演料など</td><td>□□製薬株式会社</td></tr><tr><td>研究費/奨学寄付金</td><td>株式会社××ファーマ</td></tr></table>	役員・顧問職/寄付講座所属	〇〇製薬株式会社	講演料など	□□製薬株式会社	研究費/奨学寄付金	株式会社××ファーマ	日本産科婦人科遺伝診療学会 利益相反状態の開示 筆頭演者氏名：〇〇 〇〇 所 属：△△△△産婦人科 私の今回の演題に関連して、開示すべき利益相反状態はありません。
役員・顧問職/寄付講座所属	〇〇製薬株式会社						
講演料など	□□製薬株式会社						
研究費/奨学寄付金	株式会社××ファーマ						

※上記のひな形（PowerPoint）は日本産科婦人科遺伝診療学会ホームページ（<http://jsgog.kenkyuukai.jp/special/?id=17032>）からダウンロードできます。

※開示すべき利益相反状態は、本抄録集に掲載される抄録（もしくは講演要旨）提出前 1 年間に適応されます。

座長の方へ

1. セッションの開始 15 分前までに次座長席にご着席ください。

2. セッションの進行は座長に一任いたしますが、定刻のプログラム進行にご協力ください。

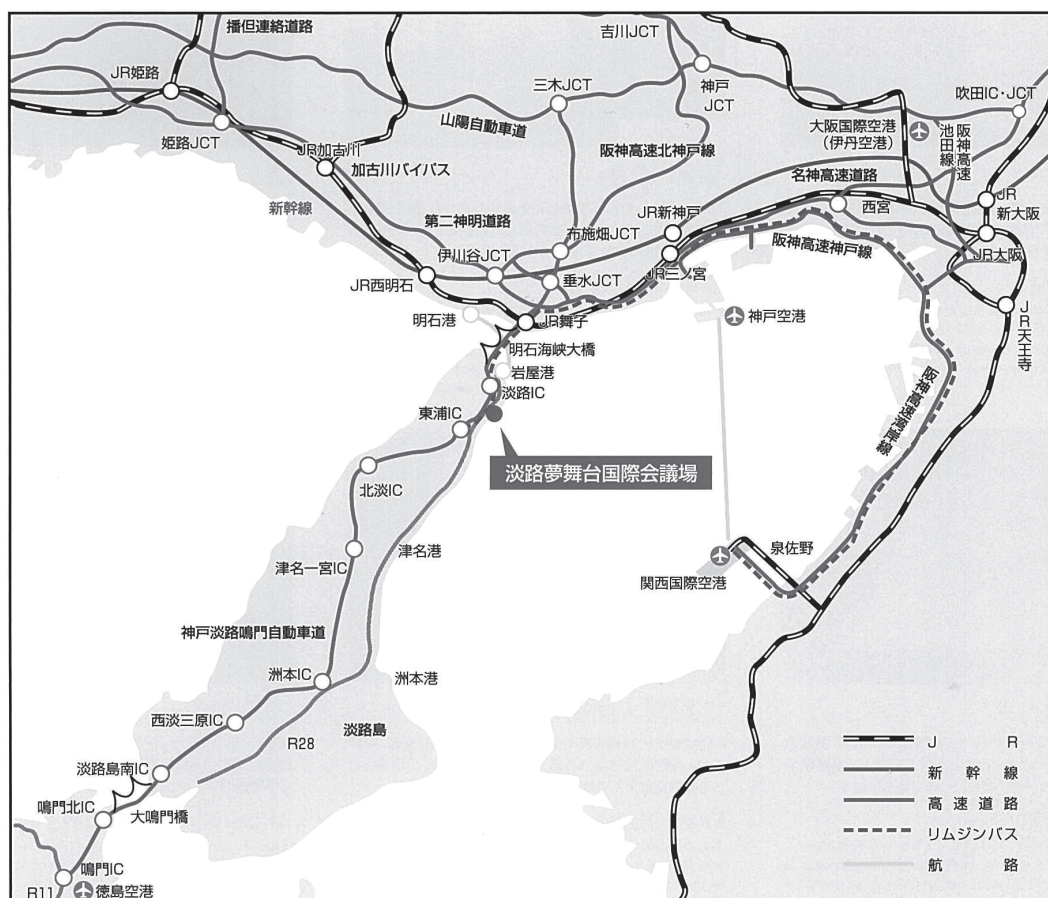
その他

・撮影・録音について

講演会場内での撮影・録音は、学会側が認めた場合以外、禁止となります。

ご協力いただきますようお願いいたします。

会場への交通



■電車・バスで

- JR 舞子, 新神戸, 三ノ宮の各駅から高速バスに乗りし、「淡路夢舞台前」で下車ください。
- JR 舞子駅から約 15 分。
※JR 舞子駅へは…大阪駅から約 45 分・新神戸駅から約 30 分・三ノ宮駅から約 25 分・西明石駅から約 10 分。
- JR 新神戸駅から約 60 分。 ● JR 三ノ宮駅から約 45 分。
高速バスのお問い合わせは、
西日本 JR バス電話予約センター TEL06-6371-0111 (8:00~21:00)
- 神戸空港から三宮までポートライナーで約 18 分。
- 関西国際空港から JR 徳島駅行きリムジンバスに乗りし、東浦 IC で下車ください。約 90 分 (要予約)。
※東浦 IC からタクシーで 10 分。
リムジンバスのお問い合わせは、
本四海峡バス予約センター TEL088-664-6030 (9:00~18:00)

■車で

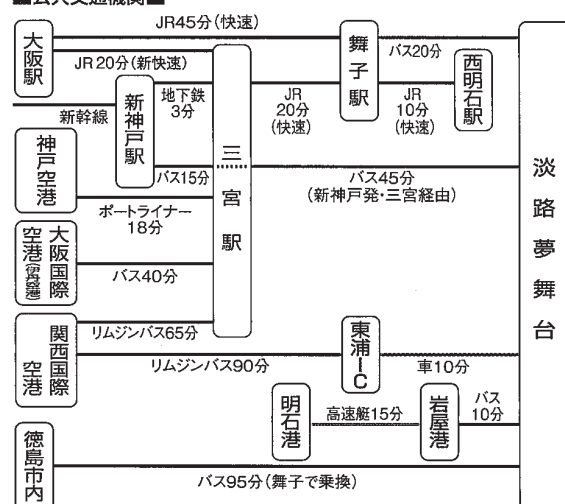
- 神戸淡路鳴門自動車道・淡路 IC を下り、国道 28 号線を海岸沿いに南へ約 5 分。または、神戸淡路鳴門自動車道・東浦 IC を下り、国道 28 号線を北へ約 5 分。
※大阪市内から約 60 分・神戸市内から約 30 分・徳島市内から約 70 分。

■船で

- 明石港から淡路ジェノバラインで岩屋港 (岩屋ポート) まで約 13 分。
岩屋ポートから路線バスで約 10 分。「淡路夢舞台前」下車すぐ。

大阪、神戸、淡路島、四国を結ぶ
高速路線バスが運行しています。

■公共交通機関■



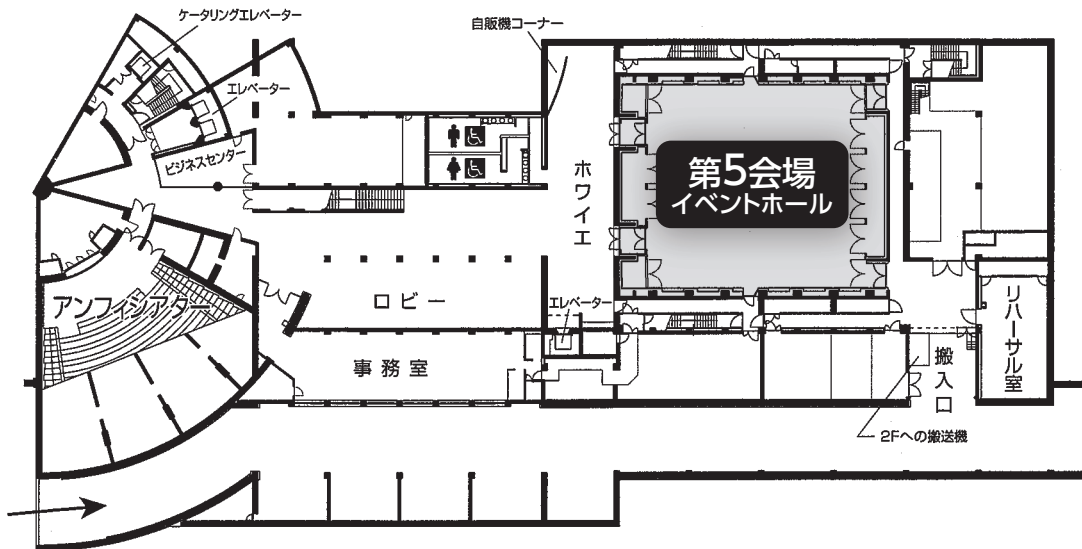
関西国際空港から高速バス&タクシーで約100分

新幹線新神戸駅から直通バスで約60分

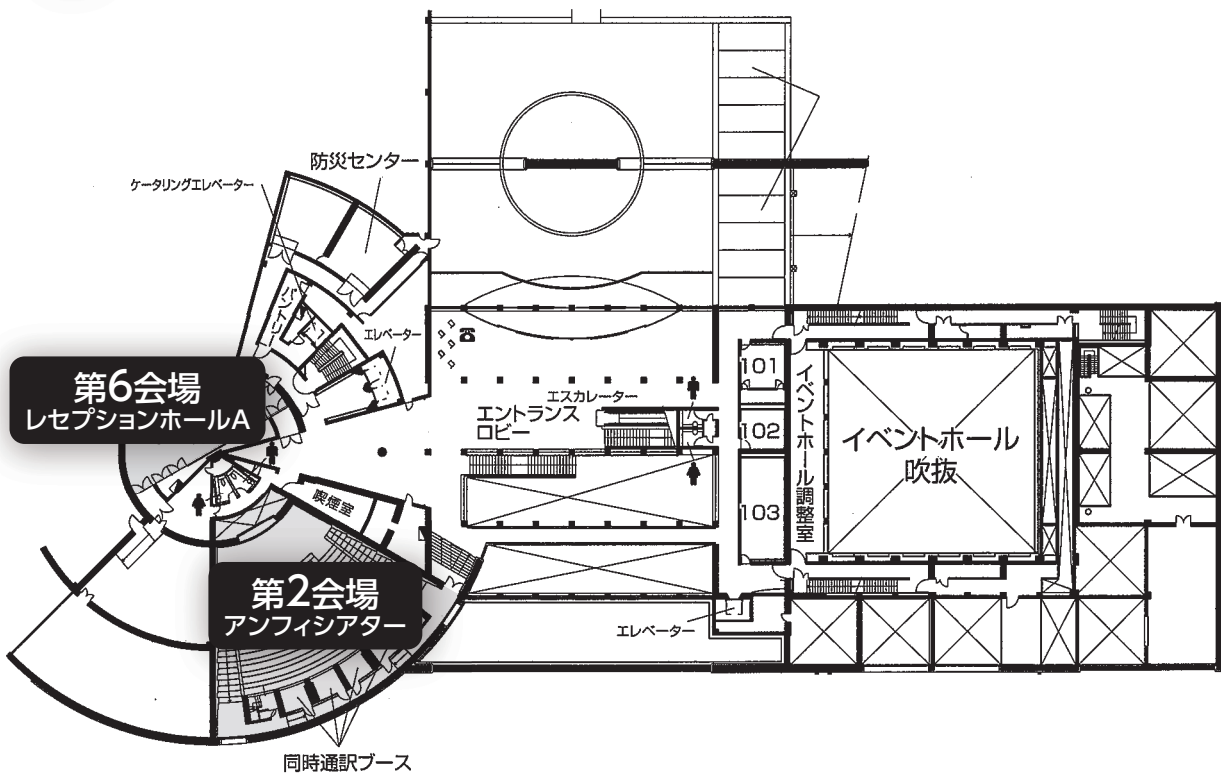
JR舞子から高速バスで約15分

会場案内図

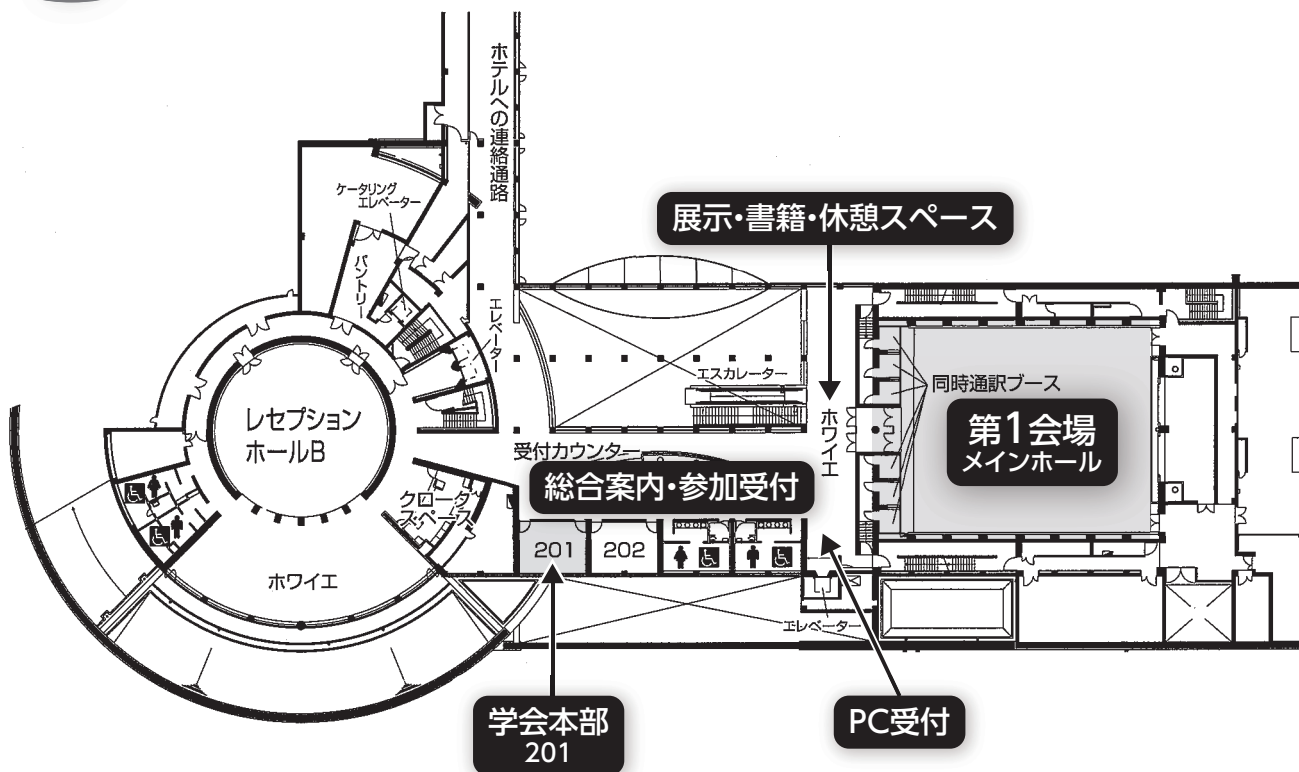
B1F



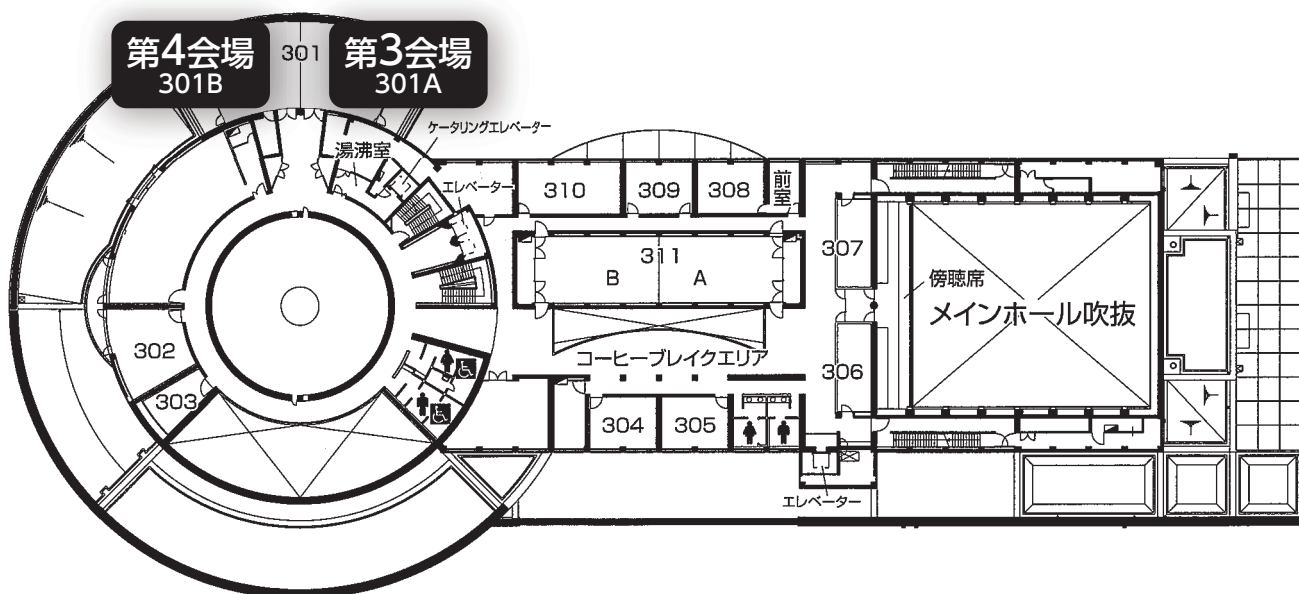
1F



2F



3F



日 程 表

12月15日(金)

淡路夢舞台国際会議場

	第1会場 2F メインホール	第2会場 1F アンフィシアター	第5会場 B1F イベントホール	第6会場 1F レセプションホールA
8:00				
9:00			9:00～12:00 遺伝カウンセリングロールプレイ認定講習会 総括担当 澤井英明 領域担当 1) 周産期 : 三宅秀彦 2) 婦人科腫瘍: 平沢 晃 3) 生殖・不妊: 鈴木伸宏	
10:00				
11:00				
12:00				
	12:00～12:50 ランチョンセミナー 1 ★ 『家族性腫瘍診療に役立つ 遺伝学の基礎知識』 座長: 竹下俊行 演者: 井本逸勢 共催: ロシユ・ダイアグノスティックス(株)			
13:00	12:50～13:00 開会式 13:00～13:30 招請講演 1 『ゲノム編集技術の医学分野での可能性』 座長: 藤井知行 演者: 山本 卓 13:30～14:00 招請講演 2 『ゲノム編集技術を活用した遺伝子改変動物の作製』 座長: 鈴木 薫 演者: 竹本龍也			
14:00	14:10～15:40 スポンサーセミナー 『HBOC 診療の現在と未来』 座長: 青木大輔 演者: 大住省三 小林 浩 櫻井晃洋 共催: アストラゼネカ(株)			
15:00	★			
16:00	15:50～17:20 教育シンポジウム 1 『婦人科腫瘍領域における Precision medicine』 座長: 八重樫伸生 岡本愛光 演者: 関根正幸 金井雅史 山田崇弘			
17:00	★			
18:00	17:30～18:20 教育シンポジウム 2 『生殖領域における遺伝診療』 座長: 吉村泰典 演者: 末岡 浩 杉浦真弓	17:30～18:10 スポンサーダイニングセミナー 『Current state of NIPT in public healthcare systems and considerations around cost-effectiveness.』 演者: Emilia Kostenko 共催: ロシユ・ダイアグノスティックス(株)	17:30～18:30 認定制度講習会まとめ 座長: 三宅秀彦 山田重人 演者: 四元淳子 村上裕美	
19:00	19:00～21:00	情報交換会 ウェスティンホテル淡路 1F「ステラ」		

★: 日本産科婦人科遺伝診療学会認定講習必修プログラム

12月16日(土)

淡路夢舞台国際会議場

	第1会場 2F メインホール	第2会場 1F アンフィシアター	第3会場 3F 301A	第4会場 3F 301B
8:00	8:00～8:40 社員総会			
9:00	8:50～9:50 教育講演 1 『遺伝診療に必要な研究倫理』 座長：木村 正 演者：苛原 稔 P	8:50～9:32 一般演題 4 出生前診断 座長：工藤美樹	8:50～9:18 一般演題 9 男性不妊 座長：片桐由起子	8:50～9:39 一般演題 14 周産期遺伝子変異 1 座長：松岡 隆
10:00	9:55～10:30 一般演題 1 染色体異常 1 座長：常見泰平	9:32～10:07 一般演題 5 NIPT・1 座長：浜之上はるか	9:18～10:07 一般演題 10 着床前診断 座長：桑原 章	9:39～10:14 一般演題 15 骨系統疾患 座長：室月 淳
11:00	10:30～10:58 一般演題 2 染色体異常 2 座長：前田和寿	10:07～10:42 一般演題 6 NIPT・2 座長：市塚清健	10:07～10:49 一般演題 11 リンチ症候群・癌生殖 座長：平沢 晃	10:14～10:49 一般演題 16 カウンセリング・教育 1 座長：竹下直樹
	10:58～11:33 一般演題 3 不育 座長：川端伊久乃	10:42～11:10 一般演題 7 生殖と周産期 座長：高井 泰	10:49～11:31 一般演題 12 HBOC1 座長：野村秀高	10:49～11:24 一般演題 17 カウンセリング・教育 2 座長：藤原 浩
12:00	11:50～12:40 ランチョンセミナー 2 『NIPT, PGS の時代に胎児超音波は 要らなくなるのか?』 座長：増崎英明 演者：夫 律子 共催：武田薬品工業(株)			
13:00	12:45～13:45 教育講演 2 『NIPT の現状と問題点』 座長：小西郁生 左合治彦 演者：関沢明彦 久具宏司 P	12:45～13:34 一般演題 8 周産期遺伝子変異 2 座長：鈴木伸宏	12:45～13:34 一般演題 13 HBOC2 座長：伊藤公彦	12:45～13:34 一般演題 18 女性医学 座長：近藤朱音
14:00	13:50～14:50 特別講演 『わが国における遺伝子診療の課題と 将来への展望』 座長：苛原 稔 演者：松原洋一 共催：イルミナ(株)			
15:00	15:00～16:00 JSOG ワークショップ 『産婦人科遺伝診療における認定制度 をどう考えるか』 座長：久具宏司 演者：平沢 晃 三浦清徳 桑原 章 寺内公一			
16:00	16:00～16:10 閉会式			
17:00				
18:00				
19:00				

P：日本専門医機構認定講習

第3回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会

プログラム

特別講演

招請講演

教育講演

教育シンポジウム

スポンサードセミナー

認定制度講習会まとめ

JSGOGワークショップ

一般演題

プログラム

第1日目 12月15日(金)

第1会場 (2F メインホール)

ランチョンセミナー 1

★ 12:00~12:50

第1会場 2F メインホール

家族性腫瘍診療に役立つ 遺伝学の基礎知識

座長：竹下 俊行（日本医科大学産婦人科）

井本 逸勢（徳島大学医学部人類遺伝学）

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

開会式

12:50~13:00

第1会場 2F メインホール

招請講演 1

13:00~13:30

第1会場 2F メインホール

ゲノム編集技術の医学分野での可能性

座長：藤井 知行（東京大学大学院医学系研究科産婦人科）

山本 卓（広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻）

招請講演 2

13:30~14:00

第1会場 2F メインホール

ゲノム編集技術を活用した遺伝子改変動物の作製

座長：鈴森 薫（胎児生命科学センター）

竹本 龍也（徳島大学先端酵素学研究所・発生生物学分野）

スポンサードセミナー

★ 14:10～15:40

第1会場 2F メインホール

HBOC 診療の現在と未来

座長：青木 大輔（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）

- | | |
|---|--|
| 1 | HBOC 診療体制の構築—四国がんセンターの場合—
大住 省三（四国がんセンター乳腺外科） |
| 2 | HBOC 診療に対する婦人科医の役割，遺伝学的検査のタイミング，遺伝学的検査の今後の問題点
小林 浩（奈良県立医科大学産婦人科学教室） |
| 3 | HBOC を含む遺伝性婦人科腫瘍の遺伝医療
櫻井 晃洋（札幌医科大学医学部遺伝医学）
共催：アストラゼネカ株式会社 |

教育シンポジウム 1

★ 15:50～17:20

第1会場 2F メインホール

婦人科腫瘍領域における Precision medicine

座長：八重樫伸生（東北大学産婦人科）

岡本 愛光（東京慈恵会医科大学産婦人科学講座）

- | | |
|---|---|
| 1 | BRCA 遺伝子検査と PARP 阻害薬の展望
関根 正幸（新潟大学大学院医歯学総合研究科産婦人科） |
| 2 | がん関連遺伝子パネル（OncoPrime™）を用いた precision medicine
金井 雅史（京都大学医学部附属病院がん薬物治療科） |
| 3 | がんクリニカルシーケンスにおける Secondary Findings としての生殖細胞系列変異の取り扱い
山田 崇弘（京都大学医学部附属病院遺伝子診療部／北海道大学病院臨床遺伝子診療部） |

教育シンポジウム 2

17:30～18:20

第1会場 2F メインホール

生殖領域における遺伝診療

座長：吉村 恭典（慶應義塾大学名誉教授／内閣官房参与）

- | | |
|---|--|
| 1 | 難病に対する生殖医療のアプローチ
末岡 浩（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室） |
|---|--|

2

習慣流産における遺伝診療

杉浦 真弓（名古屋市立大学大学院医学研究科産科婦人科／不育症研究センター）

第2会場（1F アンフィシアター）

スポンサードイブニングセミナー

17:30～18:10

第2会場 1F アンフィシアター

Current state of NIPT in public healthcare systems and considerations around cost-effectiveness

Emilia Kostenko（Roche Diagnostics, Sequencing Solutions. Global Market Access & Reimbursement）

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

第5会場（B1F イベントホール）

遺伝カウンセリングロールプレイ認定講習会

★ 9:00～12:00

第5会場 B1F イベントホール

※一部の参加者には、「第6会場 1F レセプションホール A」をご案内いたします。

総括担当

澤井 英明（兵庫医科大学産科婦人科）

領域担当

- 1) 周産期 : 三宅 秀彦（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻遺伝カウンセリングコース）
- 2) 婦人科腫瘍：平沢 晃（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）
- 3) 生殖・不妊：鈴木 伸宏（名古屋市立大学産科婦人科学）

認定制度講習会まとめ

★ 17:30～18:30

第5会場 B1F イベントホール

座長：三宅 秀彦（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻遺伝カウンセリングコース）

山田 重人（京都大学医学部附属病院遺伝子診療部）

1

遺伝性腫瘍の遺伝カウンセリングにおける TIPS

四元 淳子（お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系／大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻遺伝カウンセリングコース）

2

遺伝カウンセリングとコミュニケーションの基本

村上 裕美（京都大学医学部附属病院遺伝子診療部）

第2日目 12月16日(土)

第1会場 (2F メインホール)

社員総会	8:00~8:40
第1会場 2F メインホール	

教育講演 1	P 8:50~9:50
第1会場 2F メインホール	

遺伝診療に必要な研究倫理

座長：木村 正 (大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学講座)

苛原 稔 (徳島大学大学院医歯薬学研究部産科婦人科学分野)

一般演題 1	9:55~10:30
第1会場 2F メインホール	

染色体異常 1

座長：常見 泰平 (奈良県立医科大学附属病院産婦人科)

- | | |
|-----|---|
| O-1 | 胎児期に発症した一過性骨髄異常増殖症 (TAM) の1症例
近藤 朱音 (国立病院機構四国こどもととなの医療センター) |
| O-2 | 一過性骨髄増殖症を発症したダウン症候群の胎児超音波・モニター所見からの病態の考察
上原 萌美 (神奈川県立こども医療センター) |
| O-3 | 胎児発育不良を指摘され、出生後に4番染色体微細欠失が判明した症例
山口 昌俊 (宮崎大学医学部附属病院産婦人科／宮崎大学医学部附属病院
遺伝カウンセリング部) |
| O-4 | 羊水染色体検査にて環状染色体を認めた1例
玉置 優子 (東邦大学医療センター大森病院産婦人科／東邦大学医療セン
ター大森病院臨床遺伝診療室) |
| O-5 | 非典型的な表現型を呈した22q11.2欠失症候群の一例
石丸 美保 (独立行政法人国立病院機構金沢医療センター産婦人科) |

染色体異常 2

座長：前田 和寿（四国こどもとおとなの医療センター総合周産期母子医療センター）

- O-6** 第1子が生後5ヶ月で死亡した夫婦の一方に腕内逆位が認められた一症例
讃井 裕美（山口県立総合医療センター）
- O-7** 20番染色体腕間逆位の女性から不均衡型構造異常が同胞発生した一例
齋藤 悦子（東京都立墨東病院産婦人科）
- O-8** 不育症を契機に不均衡型転座が判明し、生児を得た1例
高木香津子（愛媛大学大学院医学系研究科産科婦人科学）
- O-9** Xq28,14q11.2Duplication由来の過剰マーカー染色体を認めた胎児多発形態異常の一例
長谷川瑛洋（東京慈恵会医科大学産婦人科学講座）

不育

座長：川端伊久乃（日本医科大学武蔵小杉病院女性診療科・産科）

- O-10** 徳島大学病院産科婦人科における不育症患者に対する染色体検査の実施状況
岩佐 武（徳島大学大学院医歯薬学研究部産科婦人科学分野）
- O-11** 当院で遺伝カウンセリングを受けた染色体構造異常を有するカップルの背景と治療予後
小泉 雅江（京野アートクリニック／京野アートクリニック高輪）
- O-12** 染色体均衡型構造異常保因者不育症例の次回妊娠時のリスク情報提供に関する考察
遠藤 俊明（札幌医科大学産婦人科／エナレディースクリニック）
- O-13** 反復流産病態における MMP-2 および MMP-9 遺伝子の一塩基多型解析
澤田 祐季（名古屋市立大学医学部医学研究科不育症研究センター／春日井マタニティクリニック／成田病院）
- O-14** 9番染色体逆位と不育症の関連性について
松田 繁（日本医科大学産婦人科）

ランチョンセミナー 2

11:50~12:40

第1会場 2F メインホール

NIPT, PGS の時代に胎児超音波は要らなくなるのか？

座長：増崎 英明（長崎大学病院／長崎大学大学院産科婦人科学）

夫 律子（クリフム夫律子マタニティクリニック臨床胎児医学研究所）

共催：武田薬品工業株式会社

教育講演 2

P 12:45~13:45

第1会場 2F メインホール

NIPT の現状と問題点

座長：小西 郁生（独立行政法人国立病院機構京都医療センター産科婦人科）

左合 治彦（国立研究開発法人国立成育医療研究センター周産期・母体診療センター）

1 偽陽性・偽陰性例の病態について

関沢 明彦（昭和大学医学部産婦人科学講座）

2 NIPT の実施状況を俯瞰し、今、改めてその社会的問題点を再考する

久具 宏司（東京都立墨東病院産婦人科）

特別講演

13:50~14:50

第1会場 2F メインホール

わが国における遺伝子診療の課題と将来への展望

座長：苛原 稔（徳島大学大学院医歯薬学研究部産科婦人科学分野）

松原 洋一（国立成育医療研究センター研究所）

共催：イルミナ株式会社

JSGOG ワークショップ

15:00~16:00

第1会場 2F メインホール

産婦人科遺伝診療における認定制度をどう考えるか

座長：久具 宏司（東京都立墨東病院産婦人科）

1 がんゲノム医療実用化時代における産婦人科医療

平沢 晃（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）

- | | |
|---|--|
| 2 | <p>出生前診断における遺伝カウンセリング体制</p> <p style="padding-left: 40px;">三浦 清徳（長崎大学産婦人科）</p> |
| 3 | <p>生殖医療における遺伝の知識</p> <p style="padding-left: 40px;">桑原 章（徳島大学病院産科婦人科）</p> |
| 4 | <p>女性ヘルスケア専門医の立場から</p> <p style="padding-left: 40px;">寺内 公一（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科女性健康医学講座）</p> |

閉会式	16：00～16：10
第1会場 2F メインホール	

第2会場（1F アンフィシアター）

一般演題 4	8：50～9：32
第2会場 1F アンフィシアター	

出生前診断

座長：工藤 美樹（広島大学産婦人科）

- | | |
|------|---|
| O-15 | <p>NIPT 未導入の当院における羊水検査の動向</p> <p style="padding-left: 40px;">岡田真由美（豊橋市民病院産婦人科）</p> |
| O-16 | <p>当院における羊水染色体検査の実施状況</p> <p style="padding-left: 40px;">山下美智子（大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学教室）</p> |
| O-17 | <p>18トリソミーの周産期予後</p> <p style="padding-left: 40px;">黒田 敬史（札幌医科大学産科周産期科）</p> |
| O-18 | <p>絨毛検査の結果は胎児の性別で左右されるか？</p> <p style="padding-left: 40px;">徐 東舜（徐クリニック）</p> |
| O-19 | <p>胎児後頸部透亮像の肥厚が疑われ当院に紹介される症例の検討</p> <p style="padding-left: 40px;">柴田 有花（北海道大学病院臨床遺伝子診療部）</p> |
| O-20 | <p>希少染色体異常の発見の端緒となる超音波検査所見</p> <p style="padding-left: 40px;">中村 靖（FMC 東京クリニック）</p> |

NIPT・1

座長：浜之上はるか（横浜市立大学附属病院遺伝子診療部）

- O-21** 当院における出生前遺伝学的検査の現状
佐々木元子（横浜市立大学附属病院遺伝子診療部）
- O-22** 胎盤限局性モザイクにより NIPT 陰性（偽陰性）となった 21 トリソミーの一症例
澤井 英明（兵庫医科大学病院臨床遺伝部／兵庫医科大学産科婦人科）
- O-23** NIPT 偽陽性の症例に対して要因を検討した一例
深野 智華（四国こどもとおとなの医療センター遺伝医療センター）
- O-24** NIPT13 トリソミー陽性、羊水 G-BAND でレベル IIIa モザイクを認めた偽陽性の 1 症例
松本真理子（京都第一赤十字病院）
- O-25** NIPT で偽陽性・判定保留を示した vanishing twin 症例の経時的解析
三春 範夫（中国電力中電病院）

NIPT・2

座長：市塚 清健（昭和大学横浜市北部病院産婦人科）

- O-26** NIPT 偽陽性例についての検討
犬塚 早紀（名古屋市立大学産科婦人科学教室）
- O-27** 当院における NIPT 判定保留症例について
田中 宏幸（兵庫医科大学産科婦人科学講座／兵庫医科大学臨床遺伝部）
- O-28** 無認可施設での NIPT を受検も、対応と結果に納得がいらず認可施設を受診した一症例
中村 博昭（大阪市立総合医療センター遺伝子診療部／大阪市立総合医療センター産科）
- O-29** NIPT 陽性で羊水染色体検査で確定診断後、妊娠継続した 18 トリソミー児妊娠の 1 例
和泉美希子（昭和大学病院臨床遺伝医療センター）
- O-30** 出生前検査の選択が染色体異常児妊娠の転帰に及ぼす影響
田中 教文（広島大学産科婦人科／広島大学遺伝子診療部）

生殖と周産期

座長：高井 泰（埼玉医科大学総合医療センター産婦人科）

- O-31** 卵子提供により出生し、遺伝カウンセリングに配慮を要したワーデンブルグ症候群の一例
佐藤 紀子（大阪大学大学院医学研究科産科婦人科学）
- O-32** 本邦での妊娠初期のプロゲステロン使用と胎児 Nuchal Translucency 肥厚についての検討
篠原 諭史（山梨大学産婦人科）
- O-33** 着床前スクリーニング後妊娠における出生前検査・診断の選択とその支援に関する考察
田村智英子（FMC 東京クリニック）
- O-34** 着床前スクリーニング後に出生前診断を希望するクライアントへの遺伝カウンセリング
西山 深雪（国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター）

周産期遺伝子変異 2

座長：鈴木 伸宏（名古屋市立大学産科婦人科学）

- O-35** 早発乳児てんかん性脳症に対する原因遺伝子の同定と出生前診断に至った1例
大脇 晶子（藤田保健衛生大学医学部医学科産婦人科学講座）
- O-36** 原因候補遺伝子を同定し得たポッター症候群の反復例
宇津野恵美（千葉大学医学部附属病院遺伝子診療部）
- O-37** 切迫早産管理に羊水除去術を要し、新生児期に Kagami-Ogata 症候群と診断された一例
黄 海鵬（埼玉医科大学総合医療センター産婦人科）
- O-38** 胎盤病理で児のムコリピドーシス II 型が示唆された1例
渡邊 絵里（岡崎市民病院産婦人科）
- O-39** 本人へ告知されていなかった L1 症候群保因者妊娠の一例
石黒 共人（越谷市立病院）
- O-40** 両児ともに Meckel-Gruber 症候群と診断された二絨毛膜双胎例
落合 祥子（獨協医科大学病院総合周産期母子医療センター産科部門／獨協医科大学産科婦人科）
- O-41** 前回妊娠時の所見が胎児診断に有用であった家族性の左室心筋緻密化障害
月原 悟（総合病院山口赤十字病院産婦人科）

第3会場 (3F 301A)

一般演題 9

8:50~9:18

第3会場 3F 301A

男性不妊

座長：片桐由起子（東邦大学産科婦人科学講座）

O-42

当院 AZF 施行症例の後方視的転帰と、b1/b3 欠失を認め体外受精に至った1例
和泉 春奈（横浜市立大学附属市民総合医療センター生殖医療センター）

O-43

男性不妊の精査で発見されたロバートソン転座の7例
町田真雄子（東邦大学医療センター大森病院臨床遺伝診療室／両角レ
ディースクリニック）

O-44

当院男性不妊症 374 症例の遺伝学的検査の実施状況
大野田 晋（獨協医科大学越谷病院リプロダクションセンター／獨協医科
大学越谷病院産科婦人科学）

O-45

クラインフェルター症候群（KS）患者の余剰 X 染色体の父母由来についての検討
田中 温（セントマザー産婦人科医院）

一般演題 10

9:18~10:07

第3会場 3F 301A

着床前診断

座長：桑原 章（徳島大学病院産科婦人科）

O-46

単一遺伝子疾患の適応について—網膜芽細胞腫は重篤にあたるか？—
中岡 義晴（IVF なんばクリニック）

O-47

生殖補助医療専門施設における単一遺伝子疾患の着床前診断
庵前美智子（医療法人三慧会 IVF なんばクリニック）

O-48

次世代シーケンサーによる分割停止胚の解析
吉澤ひかり（藤田保健衛生大学医学部産婦人科学教室／藤田保健衛生大学
総合医科学研究所分子遺伝学研究部門）

O-49

初期胚および胚盤胞の栄養膜細胞を用いた PGD について
山口 貴史（セントマザー産婦人科医院／順天堂大学医学部産婦人科学講
座）

O-50

ヒト胚の動的変化時間と染色体数的異常の関係
大津 英子（セント・ルカ産婦人科）

O-51 ヒト胚盤胞の栄養外胚葉と内細胞塊の染色体構成についての検討
城戸 京子 (セント・ルカ産婦人科)

O-52 染色体異常に起因する習慣流産に対する PGD の適応に関する再考の提言
田中 温 (セントマザー産婦人科医院)

一般演題 11

10 : 07 ~ 10 : 49

第3会場 3F 301A

リンチ症候群・癌生殖

座長：平沢 晃 (慶應義塾大学医学部産婦人科学教室)

O-53 若年性乳癌患者の妊孕性温存と遺伝カウンセリングの重要性について
京野 廣一 (京野アートクリニック高輪／京野アートクリニック／日本卵巣組織保存センター (HOPE))

O-54 癌生殖医療に対する遺伝診療のかかわり
上田 真子 (兵庫医科大学病院産科婦人科／兵庫医科大学病院臨床遺伝部)

O-55 若年性乳がんのがん生殖医療における遺伝カウンセリングの重要性について
望月 修 (セキールレディースクリニック)

O-56 Lynch 症候群の卵巣癌に対する家族歴による拾い上げの意義
竹田 貴 (慶應義塾大学医学部産婦人科学教室)

O-57 子宮鏡手術にて Atypical polypoid adenomyoma に類似した家族性子宮体癌を診断し得た症例
奥田 知宏 (市立福知山市民病院産婦人科)

O-58 死亡した発端者検体を用いた MSI 検査が有用であった Lynch 症候群の1家系
寺本 瑞絵 (札幌医科大学産婦人科学講座)

一般演題 12

10 : 49 ~ 11 : 31

第3会場 3F 301A

HBOC1

座長：野村 秀高 (がん研有明病院婦人科)

O-59 RRSO 目的で紹介初診時に少量の腹水の存在から卵巣癌の発症を疑った進行卵巣癌の1例
長島 稔 (がん研有明病院)

O-60 家系図作成支援ソフトウェアの開発—家族性腫瘍の拾い上げのための当院の試み—
俵 史子 (俵 IVF クリニック)

O-61 遺伝性卵巣癌症候群患者へのリスク低減卵巣卵管摘出術の後方視的検討
戸澤 晃子（聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター診断治療法開発
創薬部門／聖マリアンナ医科大学産婦人科）

O-62 遺伝性乳癌卵巣癌遺伝子変異保因者に対する当院におけるリスク低減手術の現状について
中村 和人（群馬県立がんセンター婦人科）

O-63 当院で実施した遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対するリスク低減卵巣卵管摘出術の経過
飯塚 千祥（昭和大学産婦人科学講座）

O-64 当院で施行した HBOC に対する RRSO 症例の臨床病理学的検討
野村 秀高（公益財団法人がん研究会有明病院婦人科）

一般演題 13

12:45～13:34

第3会場 3F 301A

HBOC2

座長：伊藤 公彦（関西ろうさい病院産婦人科）

O-65 当院での HBOC 遺伝診療体制の構築
和田美智子（京都医療センター遺伝診療部／京都医療センター産科婦人
科）

O-66 奈良県における遺伝性乳癌卵巣癌症候群診療の連携体制の構築
新納恵美子（奈良県立医科大学産科婦人科学教室）

O-67 BRCA1/2 病的変異陽性発端者の家系員の遺伝学的検査受検状況
秋谷 文（聖路加国際病院遺伝診療部／聖路加国際病院女性総合診療
部）

O-68 当院の遺伝性乳癌卵巣癌症候群の診療 特に卵巣癌からのアプローチから見てきたもの
鶴田 智彦（関西労災病院産婦人科）

O-69 卵巣癌 105 例の遺伝学的検査への意識調査と BRCA1/2 遺伝子変異頻度
阿部 彰子（徳島大学産婦人科）

O-70 BRCA 変異のある卵巣がん患者の臨床背景に関する検討
清水 華子（国立がん研究センター中央病院婦人腫瘍科）

O-71 BRCA1/2 遺伝子変異予測モデルの日本人における有用性の検討
平野 卓朗（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）

第4会場 (3F 301B)

一般演題 14

8:50~9:39

第4会場 3F 301B

周産期遺伝子変異 1

座長：松岡 隆（昭和大学医学部産婦人科学講座）

O-72

双胎家族歴を有する胸-臍結合体双胎の一例

浅野 拓也（市立函館病院産婦人科／NGSD プロジェクトインテンシブ
コース）

O-73

新生児重症黄疸を契機に母と児の診断に至った遺伝性球状赤血球症合併妊娠の一例

北野 理絵（総合病院土浦協同病院産婦人科）

O-74

血友病 A 推定保因者において遺伝カウンセリングと妊娠、分娩管理を行った 1 症例

前田 和寿（四国こどもとおとなの医療センター）

O-75

NIPT の受検後、遺伝性出血性末梢血管拡張症（オスラー病）が判明し再受診となった一例
田原 三枝（大阪市立総合医療センター産科／大阪市立総合医療センター
遺伝子診療部）

O-76

遺伝性血管浮腫合併妊娠の一例

吉元 千陽（奈良県立医科大学産婦人科学教室）

O-77

SNP アレイによる鑑別診断を実施した妊娠初期全胎状奇胎の 1 例

坂部 慶子（藤田保健衛生大学医学部産婦人科学教室／藤田保健衛生大学
総合医科学研究所分子遺伝学研究部）

O-78

胎状奇胎の鑑別診断における遺伝型解析の意義

長谷川 ゆり（長崎大学産婦人科）

一般演題 15

9:39~10:14

第4会場 3F 301B

骨系統疾患

座長：室月 淳（宮城県立こども病院産科／東北大学大学院先進成育医学講座
胎児医学分野）

O-79

点状軟骨異形成症の保因者と診断した 1 例

藤岡 陽子（国立病院機構埼玉病院産婦人科）

O-80

当院で経験した周産期型低ホスファターゼ症を疑う症例

佐藤 紀子（大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学教室）

- O-81** 児の診断を契機に発見された骨形成不全症の一家族例
山下美智子（大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学）
- O-82** 同胞発症した骨系統疾患例から学ぶ遺伝カウンセリングの重要性
本岡 千聡（熊本大学生命科学研究部産科婦人科学分野）
- O-83** 胎児期の巨頭症から出生後、巨頭症—毛細血管奇形症候群と判明した1例
瀬戸 理玄（帝京大学医学部附属病院産婦人科）

一般演題 16

10:14~10:49

第4会場 3F 301B

カウンセリング・教育 1

座長：竹下 直樹（東邦大学医療センター佐倉病院産婦人科）

- O-84** 遺伝学的異常を有する児の分娩歴のある妊婦への一般診療における対応
高本 真弥（国立国際医療研究センター産婦人科）
- O-85** 習慣流産例の NIPT に関する一次施設での遺伝カウンセリング
川端伊久乃（日本医科大学武蔵小杉病院女性診療科・産科）
- O-86** 染色体異常児の妊娠既往を有する妊婦への個別化対応
玉村 千代（福井大学産婦人科）
- O-87** 妊婦が求める出生前診断とは何か～NIPT 陰性者の受検後アンケートより～
栗城 紘子（横浜市立大学附属病院遺伝子診療部）
- O-88** NGSD プロジェクト・インテンシブコースの医学教育学的検討
土肥 聡（昭和大学横浜市北部病院産婦人科／課題解決型高度医療人材養成プログラム NGSD プロジェクト）

一般演題 17

10:49~11:24

第4会場 3F 301B

カウンセリング・教育 2

座長：藤原 浩（金沢大学産婦人科）

- O-89** 出生前検査で児の染色体異常が確定した症例の妊娠帰結とその後の継続的な支援について
宮上 景子（昭和大学産婦人科学講座）
- O-90** 当院における双胎妊娠の出生前診断の現状
鈴木美奈子（国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター）
- O-91** 産科専門病院における遺伝カウンセリング需要の動向
成瀬 勝彦（公益財団法人聖バルナバ病院産婦人科／遺伝カウンセリング部）

O-92

当院における遺伝外来の現況と課題点

柿沼 敏行 (国際医療福祉大学病院産婦人科)

O-93

公開講座「遺伝性神経難病のケア」の症例検討における出生前診断話題提供への受止め

覚道真理子 (高井病院耳鼻咽喉科／兵庫医科大学病院臨床遺伝部／奈良県立医科大学附属病院遺伝カウンセリング室)

一般演題 18

12:45～13:34

第4会場 3F 301B

女性医学

座長：近藤 朱音 (四国こどもとおとなの医療センター産科・遺伝医療センター)

O-94

手術後に洞不全症候群となりペースメーカーを挿入した筋強直性ジストロフィーの1例

秋澤 叔香 (東京女子医科大学産婦人科／東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)

O-95

妊娠を契機に診断された筋強直性ジストロフィーの2例

西岡 暢子 (越谷市立病院産婦人科)

O-96

妹の分娩歴により妊娠中に筋強直性ジストロフィーと診断された一例

白勢 悠記 (亀田総合病院産婦人科)

O-97

子宮内膜症を合併した筋強直性ジストロフィーの2症例

山縣 芳明 (JCHO 徳山中央病院)

O-98

性分化疾患の術後転帰と遺伝カウンセリングの問題点

白土なほ子 (昭和大学医学部産婦人科学講座)

O-99

当院における Turner 症候群の管理

内倉 友香 (愛媛大学産婦人科)

O-100

ART により妊娠・出産に至った Turner 症候群の一例

安藤 智子 (名古屋第一赤十字病院産婦人科)